

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 瀬戸商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価															
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D 評価				今後の展開・改善点等		備考		
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値		自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②			
巡回・窓口相談指導事業	課題解決指導を最優先とし、個々の事業所の経営能力のレベルアップをきめ細かく行っていく。また、それ以外で行員・非会員事業所を問わず巡回を行い会議所の諸施策の説明・指導を行う。その巡回は課題解決に誘導できるものは積極的に行う。	経営指導員個々が担当する業務の中で、担当業務での強みを活かした課題解決指導を行った。また、管内巡回指導を行うにあたり指導員ごとに担当地区を決め、地域内の小規模事業者の計画的な巡回を行った。 ・巡回窓口指導実企業数 816社（非会員119社） ・巡回窓口指導延件数 1,983件（非会員228件） ・課題解決提案件数 75件 ・経営革新承認件数 0件	小規模事業者	指標 巡回窓口指導延件数 (達成度 104.4 %)	1,900	1,983	指標 課題解決提案件数 (達成度 150.0 %)	50	75	小規模事業者を直接訪問し経営指導員がその事業所の内容をよく把握し適切な経営指導ができた。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	毎月巡回件数を確認し目標達成に努力する。
記帳継続指導	小規模事業者を対象に日々の帳簿の付け方から、年末調整、決算書、確定申告書、消費税申告書の作成指導を行う。	・記帳継続指導 18事業所 ・記帳機械化指導 14事業所 ・指導延日数 189日 ・指導延回数 276回	小規模事業者及び税理士関与のない事業所	指標 記帳継続指導事業所数 (達成度 81.8 %)	22	18	指標 記帳機械化指導事業所数 (達成度 107.7 %)	13	14	記帳継続指導と機械化指導の対象者計38事業所について日々の記帳から決算、申告までの指導を行った。1事業所あたり3回以上対面形式で帳簿の作成などの問題について指導を行った。市内の小規模事業者に正しい記帳の仕方を指導し、レベルアップに寄与した。	総合評価	A	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 下げる	会計ソフトを使って記帳している事業所に対しても指導範囲を広げる。
講習会等	小規模事業者等に対して、必要な経営知識を提供し資質向上と経営体質の強化に資するために経営革新セミナーを実施する。	・経営革新セミナー 1回 12名	小規模事業者	指標 経営革新セミナー参加人数 (達成度 120.0 %)	10	12	指標 (達成度 %)			経営革新セミナーを開催することにより小規模事業者が最新の知識を身につけ、経営体質強化を図ることができた。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	特に実施方法は変えないが事業所ニーズを把握し、時間を検討し、事業所ニーズを把握しながら内容を充実させる。
各種講習会・個別相談	地域の小規模事業者等に対して、必要な経営知識を提供し資質向上と経営体質の強化に資するために各種講習会を実施する。また、直面する様々な経営課題に対し、マンツーマンで専門家による個別相談を行う。	・講習会開催回数及び受講者数 集団 14回 120名 個別 152回 355名 計 166回 475名 webセミナー 受講アクセス数 2,016名	小規模事業者等	指標 集団・個別参加人数 (達成度 118.2 %)	402	475	指標 webセミナー受講アクセス数 (達成度 103.4 %)	1,950	2,016	集団・個別講習会を開催することにより小規模事業者が最新の知識を身につけ、経営体質強化を図ることができた。	総合評価	A	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 上げる	特に実施方法は変えないが事業所ニーズを把握し更に内容を検討し充実させる。また、webセミナー受講者数の増加に努める。
若手後継者等育成事業	企業経営者（後継者等）、企業経営に携わる女性に対して、研修会等を開催し企業経営者として研鑽をつみ、当所事業活動に積極的に参加、協力を通じ地域内の商工業の振興を図る。	・青年部 勉強会 1回 29名、 リーダーズ研修会参加 1回 3名 ・女性会 勉強会 0回 0名、 全国大会参加 1回 3名 ・満足度調査 100%	小規模事業者等を中心とする青年部女性会員	指標 勉強会・研修会参加人数 (達成度 40.7 %)	86	35	指標 満足度調査 (達成度 142.9 %)	70	100.0	資質向上の研修会等を通じて自己研鑽、組織運営の手法を学ぶことにより自社の活性化や地域振興活性化につながった。	総合評価	A	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 上げる	青年部・女性会ともに自己研鑽にこれからも努める。
創業支援事業	地域のニーズや課題をビジネスとして継続的に取り組む「地域ビジネス」の創業を瀬戸市内にて目指す方を対象に、地域ビジネスを創業するために必要となる知識等を学ぶ機会を提供することで、就業の1つである起業が創出させる環境づくりを図り、地域経済の発展に寄与する。	・せと・しごと塾 受講者数 13名、 座学 15日 (1日3時間程度) ・個別相談 36回 ・創業セミナー 受講者数 14名	小規模事業者等	指標 せと・しごと塾受講者数 (達成度 86.7 %)	15	13	指標 創業セミナー受講者数 (達成度 87.5 %)	16	14	座学と実学を行政、大学、金融機関とともに連携して実施することにより、発生の創業・経営支援に取り組むことができた。	総合評価	A	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 現行どおり	瀬戸市と協力し事業を進める。地域ビジネス色の濃い内容は、市所担当課に案内し、本格的な創業を目指す方の支援に特化する。
経営発達支援事業	・専門家派遣 小規模事業者等の個社の状況にあわせた事業計画策定等の支援を行うため、専門家派遣事業を実施する。 ・販路開拓支援 小規模事業者の新たな需要開拓のため、展示会等への出展支援を行う。	・専門家派遣開催回数 30回	小規模事業者	指標 専門家派遣開催回数 (達成度 85.7 %)	35	30	指標 (達成度 %)			個社の事業計画策定やフォローアップを実施。渋谷ヒカリエ展示会に出展者を派遣し、売上目標を達成することができた。	総合評価	A	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 現行どおり	積極的に小規模事業者等の事業計画策定等を支援していく。
事業環境変化対応型支援事業	最低賃金引上げ、デジタル化、インボイス制度導入、エネルギーその他の物価高騰等の対応といった事業環境変化に対応等を行うための経営相談や各種サポート、講習会等を開催する。	・個別相談開催回数 27回 76名 ・講習会開催回数 2回 29名	小規模事業者及び中小企業者	指標 個別相談開催回数 (達成度 112.5 %)	24	27	指標 講習会開催回数 (達成度 66.7 %)	3	2	デジタル化やアフターコロナ等の事業環境変化の影響を受ける事業者の経営相談や各種制度の申請等の支援を実施し、事業の継続につながった。	総合評価	A	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 現行どおり	引き続き相談窓口の設置と、時節に合わせた講習会を実施する。

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 瀬戸商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価										今後の展開・改善点等	備考							
				目標①			目標②			得られた効果		A B C D 評価										
				指標	実績数値	達成率	指標	実績数値	達成率	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果			満足度	補足	目標①	目標②			
地域振興事業	・瀬戸市を代表する地産産物をPRする産業祭である「せともの祭」「せと陶祖まつり」を開催する。このイベントにより直接的（販売）な経済効果・間接的には全国的な知名度アップにつながる。 ・地域資源を活用した新商品開発やご当地グルメ・ご当地検定のPR等の支援をする。	・せと陶祖まつり 4月19日（土）、20日（日） 来場者数 31,000名 ・せともの祭 9月13日（土）、14日（日） 来場者数 360,000名	小規模事業者及び中小企業者	指標	せと陶祖まつり祭来場者数 (達成度 124.0 %)			指標	せともの祭来場者数 (達成度 100.0 %)			参加事業者の各個店の活性化、市内産業観光に貢献した。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	地産産物である陶磁器関連産業を支援していく大きなイベントであり、さらに内容を充実させていく必要がある。 また、地域資源を活用した新商品開発等の支援も実施する。
				目標数値	25,000	実績数値	31,000	目標数値	360,000	実績数値	360,000					A		A		必要性	現行どおり	
商店街振興事業	消費者の生活形態の変化、郊外型大型店等への購買力流出、新型コロナウイルス感染症対策など、地元商店街が抱える様々な経営課題解決に向け、瀬戸市商店街連合会との協力体制の下、地域の消費喚起などを図り、各種事業に取り組む。	・瀬戸市商店街連合会事業への協力 ・定例打合せ会、各種会議等の開催 14回 ・視察研修会等 1回	小規模事業者を中心とする市内商店街	指標	商店街活性化事業会議開催回数 (達成度 116.7 %)			指標	視察研修会等開催回数 (達成度 100.0 %)			商店街並びに店主の意識高揚につながった。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	瀬戸市商店街連合会との連携により先進地視察等の事業を実施し商店街活性化に努める。
				目標数値	12	実績数値	14	目標数値	1	実績数値	1					A		A		必要性	現行どおり	
情報収集提供事業	当所が発行する「会議所ニュース」「メールマガジン」により小規模事業者、各種事業をPRし小規模事業者の各種制度等の利用を奨励する。また、働き方改革等の情報を当所ホームページ等で発信する。	・会議所ニュース 年 8回 ・メールマガジン登録者数 460名	小規模事業者	指標	会議所ニュース発行回数 (達成度 100.0 %)			指標	メールマガジン登録者数 (達成度 104.5 %)			当所が発行する「会議所ニュース」「メールマガジン」により小規模事業者の各種事業をPRし小規模事業者の各種制度等を利用して頂き、事業者のレベルアップに寄与した。また、全戸配布版の会議所ニュースにより会議所で行っている事業等を市民に周知することができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	会議所事業の周知・PRをさらに積極的に行う また、メールマガジンの登録者数の増加に努める。
				目標数値	8	実績数値	8	目標数値	440	実績数値	460					A		A		必要性	現行どおり	
商談会事業	・地域商談会（尾張会場） 瀬戸市内の中小・小規模企業者を中心とした企業が、受注機会の増大及び新規取引先の開拓を図るとともに、企業間の情報交換を通じ共同受注、共同開発、技術提携を促進することにより振興を図る。 ・「アライアンス・パートナー発掘市」 愛知県下の商工会議所（22商工会議所）の会員事業所に商談・PRの場を提供する。 ・企業お見合い、「き」業展 当市及び多治見市周辺の商工会議所・商工会に会員事業所の商談・PRの場を提供する。	・地域商談会（尾張会場） 開催日 7月2日（水） 商談会場 稲沢市勤労福祉会館 参加企業数 6社 ・アライアンス・パートナー発掘市 商談期間 7月8日（火）～7月10日（木） 商談会場 名古屋商工会議所 参加企業数 4社 （エントリ企業数 10社） ・企業お見合い 商談期間 10月17日（金） 商談会場 多治見市産業文化センター 参加企業数 3社 ・「き」業展 商談期間 1月30日（金）、31日（土） 商談会場 セラミックパークMINO 参加企業数 4社	小規模事業者及び中小企業者	指標	参加企業数 (達成度 141.7 %)			指標	参加企業数 (達成度 %)			・アライアンスパートナー発掘市 愛知県下の各地事業者の取引機会を増やすことができた。 ・企業お見合い 事業者の取引機会を増やすことができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	・地域商談会（尾張会場） 地域の参加企業が増えるようにPRを積極的に実施したい。 ・アライアンス・パートナー発掘市 商談の機会を設けるイベントとして非常に意義がある。PR方法を検討して参加者数を増やしたい。 ・企業お見合い・「き」業展 PRを積極的にいり参加者を募る。
				目標数値	12	実績数値	17	目標数値		実績数値						A		A		必要性	現行どおり	
異業種交流事業	異業種交流グループは参加各事業所が自主的かつ自由な異業種間の交流活動を通して各々の潜在能力を啓発するとともに、共同研究及び共同開発を行うことにより、技術力及び経営力の向上を図り、又は新しい事業活動を創造することにより、参加企業の発展と地域の振興に資することを目的とする。	グループとして年3回の例会の実施 (例会において勉強会、研究会、視察研修会等を行う。)	中小・小規模事業者を中心とする異業種交流グループ 46事業所	指標	例会開催回数 (達成度 100.0 %)			指標	例会開催回数 (達成度 %)			会員企業への情報提供や研修・勉強会を通して、自主的かつ自由に交流活動を行い、お互いの潜在能力を啓発し、会員企業が新しい事業を創造し、更なる発展をとげ、企業経営の一助となった。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	例会（視察・勉強会等）の開催については、時期にあつた内容・テーマを検討して実施するように努める。
				目標数値	3	実績数値	3	目標数値		実績数値						A		A		必要性	現行どおり	
調査・広報事業	全国の中小企業・小規模事業者の景況について調査を実施する。	・LOBO調査 延調査件数 23件 毎月、モニター（2組合）に対し、調査6項目（売上高、採算、仕入単価、従業員数、業況、景況）を並びにその時期ごとに付帯調査項目2～3について、前年対比並びに向こう3ヶ月の見通しや当面の経営上の問題等について調査を行い、日本商工会議所へ報告を行う。全国各地域会議所からの調査情報収集で全国的な中小企業の景況を全数統計とする。 ・景況調査 延調査件数 200件 四半期ごとにモニター50社（業種製造業16社 建設業3社 卸売業4社 小売業12社 サービス業15社）に対し売上等の調査項目（製造業26項目 建設業19項目 卸売業20項目 小売業18項目 サービス業15項目）ならびに新規設備投資の予定、直面している経営上の問題点等について調査を行い、日本商工会議所へ報告を行う。全国各地商工会議所からの調査情報収集で全国的な中小企業の景況を統計する。	小規模事業者を中心とする管内事業所	指標	延調査件数（LOBO調査） (達成度 95.8 %)			指標	延調査件数（景況調査） (達成度 100.0 %)			瀬戸市内の業界・業種ごとの企業の景気動向を把握し、日本商工会議所へ調査報告を行うことにより、全国各地域の景気動向を確認、把握することができ、企業経営の一助となった。	総合評価	A	実施評価	自己評価	調査結果	満足度	補足	目標①	目標②	・LOBO（早期景気観測）調査 毎月の調査をモニター（2）に対して確実に、指定された期日に実施する。 ・景況調査 四半期ごとの調査をモニター（50）に対して確実に、指定された期日に実施する。
				目標数値	24	実績数値	23	目標数値	200	実績数値	200					B		A		必要性	現行どおり	

2025年度事業実績報告の概要（小規模事業経営支援事業費補助金関係）

団体名： 瀬戸商工会議所

事業名	事業概要（背景・目的）	事業実績	主たる対象者	事業評価											今後の展開・改善点等	備考			
				目標①			目標②			得られた効果	A B C D 評価								
				指標	目標数値	実績数値	指標	目標数値	実績数値	総合評価	実施評価	自己評価	調査結果	満足度			補足	目標①	目標②
雇用促進事業	管内の企業が必要とする労働力の維持確保及び従業員の福祉と定着を図り、もって産業経済の発展に寄与することを目的とする。	①高等学校進路指導担当教諭対象の地元企業見学会 ②高等学校進路指導担当教諭と事業所との意見交換会 参加者数 72名 ③管内中学・高等学校進路担当教諭との打合せ会 ④求人説明会 ⑤就職フェア 来場者数 93名	中小・小規模事業者を中心とした管内企業	指標	意見交換会参加者数 (達成度 102.9 %)	指標	就職フェア来場者数 (達成度 93.0 %)	中小・小規模事業者が必要とする労働力の維持確保に貢献することができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 下げる	・意見交換会については、採用予定がなくてもできるだけ情報交換の場として参加していただけるよう積極的に参加要請していきたい。 ・就職フェア ・従来通り開催をし、雇用機会を創出することにより、地元企業の雇用を支援する。	
人材育成事業	・簿記、珠算検定各種検定試験は会社運営や仕事上の基礎能力の向上に寄与する。 ・瀬戸・尾張旭雇用対策協議会管内の企業が必要とする労働力の維持確保及び従業員の福祉と定着を図り、もって産業経済の発展に寄与することを目的とする。	・簿記、珠算検定簿記 6月 8日（日）、11月 16日（日）、2月22日（日） 珠算 6月22日（日）、10月 26日（日）、2月 8日（日） ・瀬戸・尾張旭雇用対策協議会 ①ビジネスマナーセミナー受講者数 15名 ②労働講座 受講者数 32名	小規模事業者及び中小企業者及びその社員、市民	指標	各種検定実施回数 (達成度 100.0 %)	指標	ビジネスマナーセミナー・労働講座受講者数 (達成度 134.3 %)	・簿記、珠算 市内小規模事業者等の事業主、従業員、将来を担う学生、生徒・児童の各種能力アップにつながった。 ・瀬戸・尾張旭雇用対策協議会 企業が必要とする従業員のスキルアップ等により、経営体質の強化を図ることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 上げる	・検定のPRをし、各種検定受検者を増やし事業者の能力アップを図る。 ・ビジネスマナーセミナー、労働講座とともにニーズに即した講座内容を検討し、引き続き開催する。	
青年部・女性会事業	企業経営者（後継者等）、企業経営に携わる女性に対して、研修会等を開催し企業経営者として研鑽を積み、当所事業活動に積極的に参加、協力を通じ地域内の高工業の振興を図る。また、青年部・女性会の連合会等で地域の枠を超えた交流を通じ、人脈、つながり、情報等を単身に持ち帰ることにより、組織強化と地域社会の発展に寄与する。	・青年部 総会 3回、役員会等 26回、例会 3回、その他(委員会等) 87回 ・女性会 総会 1回、役員会等 13回、例会 9回、その他(委員会等) 15回	小規模事業者等を中心とする青年部77名、女性会25名	指標	青年部会議開催回数 (達成度 158.7 %)	指標	女性会会議開催回数 (達成度 100.0 %)	総会・役員会・地域振興事業等へ参加することにより、組織運営等の手法を学び、各事業を実施する過程として企画から実現までを経験できた。この経験は、参加企業の経営力向上等に活かすことができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 上げる	目標② 現行どおり	事業内容等について大きな内容の変更はないが会員の自社の発着や地元意識の向上に努める。	
部会・委員会事業	7部会（陶磁器・商業・建設・工業・窯業原料・サービス業・金融）、4委員会（工業・商業・総務・産業観光）の開催により所属部会・委員会の小規模事業者のきめ細かいニーズの把握や発展を図る。	・部会 30回 ・委員会 8回	小規模事業者	指標	部会・委員会開催回数 (達成度 211.1 %)	指標	(達成度 %)	相互情報交換が可能となり、直面する経済環境対応事業実施にあたりスムーズな運営を図ることができた。また、事務局として市内事業所の各種ニーズ把握の場となった。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法② 現行どおり	さらに充実した事業内容にするためよく検討する。	
福利厚生事業	中小・小規模企業の福利厚生が不十分であることが多いため、従業員の雇用継続の一助となるべく共済制度を普及推進する。	巡回・窓口・講習会等で各種共済制度の普及を推進し、加入を促進する。 各種共済加入事業所総数 1,274社	小規模事業者及び中小企業者	指標	各種共済加入事業所総数 (達成度 96.5 %)	指標	(達成度 %)	市内小規模事業者等の事業主、従業員等への福利厚生の一助となった。	総合評価	A	実施評価	自己評価 B 目標達成度 B	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 下げる	目標② 実施方法① 実施方法② 現行どおり	今後も積極的に加入促進を図っていく。	
労働保険事業	労働保険（労災・雇用保険）の加入手続きや保険料の申告納付、各種届出に関する事務手続きを代行し、労働保険の適用促進と労働保険料の適正な徴収を行う。	・労働保険料の受託、収納事業所数 132社 ・会議、研修など 2回	小規模事業者及び中小企業者	指標	受託、収納事業所数 (達成度 101.5 %)	指標	(達成度 %)	市内小規模事業者等の労働保険の事務手続きの一助となった。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法② 現行どおり	今後も労働保険の事務手続きの一助となるように努める。	
産業団体等指導事業	・愛知県経営者協会瀬戸支部管内の中小・小規模企業の経営者及び人事・労務管理者に対して人事労務問題に関する最新の情報を提供し、企業の人材育成を支援する。	愛知県経営者協会瀬戸支部支部例会 4回	小規模事業者及び中小企業者	指標	愛知県経営者協会瀬戸支部支部例会開催回数 (達成度 100.0 %)	指標	(達成度 %)	・愛知県経営者協会瀬戸支部企業の人事労務管理の参考資料の提供や情報交換により経営強化を図ることができた。	総合評価	A	実施評価	自己評価 A 目標達成度 A	調査結果 A 必要性 A	満足度 A	補足	目標① 現行どおり	目標② 実施方法① 実施方法② 現行どおり	・愛知県経営者協会瀬戸支部今後もニーズに即した人事労務問題の情報等を提供する。	

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。